

会員の皆さまの意見を適正に反映するための開かれた制度です。

1 総代会について

- (1) 信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて信用金庫の経営に参加することになります。当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。
- (2) 総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代によって運営されます。
- (3) 当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、様々な経営改善に取り組んでおります。

2 総代候補者の選考基準

- (1) 当金庫の会員である方。
- (2) 当金庫の良き理解者である方。
- (3) 総代として相応しい見識を有し、正しい判断ができる方。
- (4) 人格者であり、当金庫の発展にご協力いただける方。
- (5) 地域における信望が厚い方。
- (6) 就任時点で75歳未満である方。

3 任期・定数・選任方法等

- (1) 総代の任期・定数
 - ・総代の任期は3年です。
 - ・総代定数は、100人以上200人以下で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。なお、2022年3月31日現在の総代数は178人で、会員数は81,187人です。
- (2) 総代の選任方法

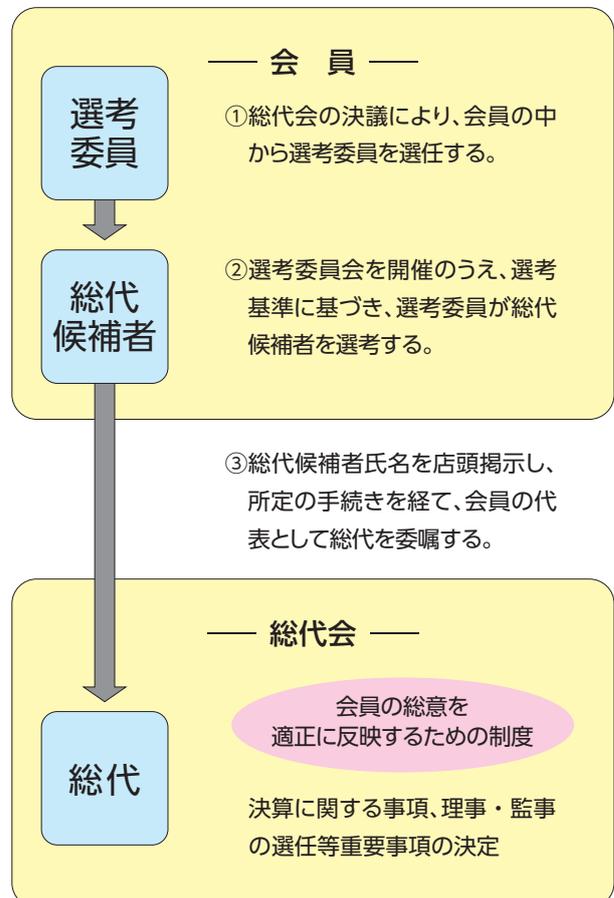
総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

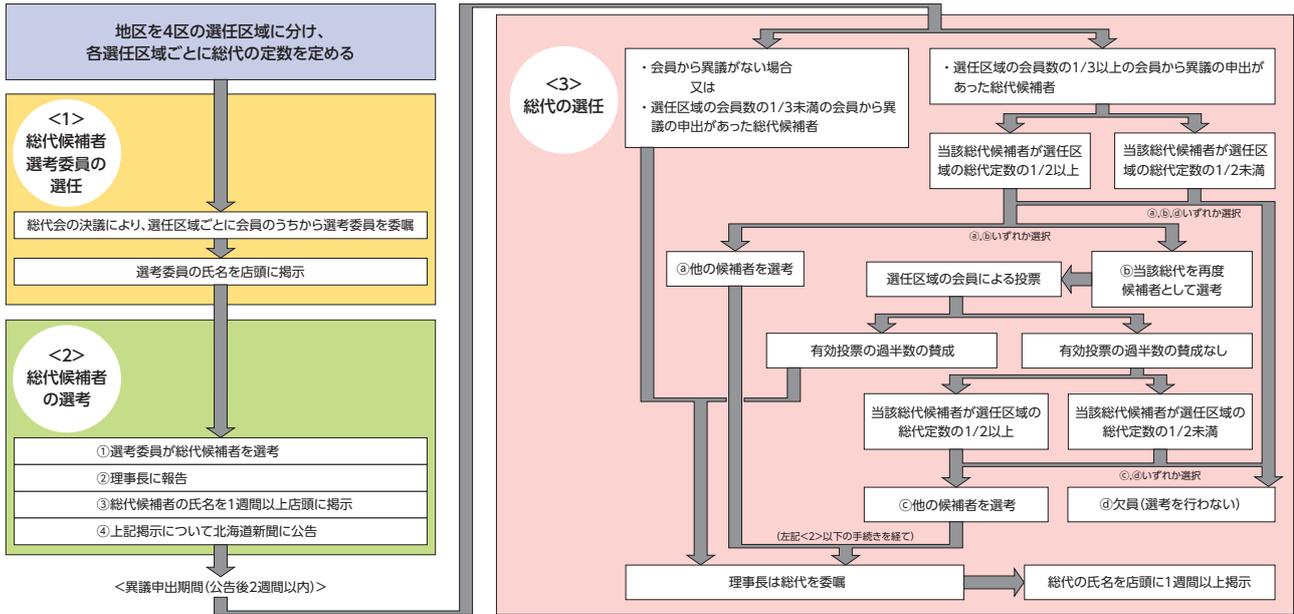
 - ① 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任します。
 - ② 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考します。
 - ③ その総代候補者を会員が信任します(異議があれば申し立てる)。
- (3) 総代の定年制

総代会の一層の機能向上と活性化、世代交代の促進などを目的として、総代定年制を導入しております。

 - ・総代の定年は満75歳到達日とします。ただし、任期中にあっては直前に到来する任期満了日までといたします。



<総代会が選任されるまでの手続きについて>



総代の氏名等 ※氏名の後の○は就任回数を表しております。(2022年6月末現在<五十音順・敬称略>)

第1区 70名(札幌市中央区、札幌市西区、札幌市手稲区、小樽市、余市町、仁木町、古平町、積丹町、赤井川村、神恵内村、泊村)

朝倉 誠 ③	上参郷 光祐 ③	佐藤 慶一 ③	高田 秀文 ③	福士 宗光 ③	山崎 雅廣 ③
安積 孝三 ⑤	亀尾 毅 ③	佐藤 隆昌 ③	高橋 哲雄 ③	福島 勝男 ⑥	山本 一博 ③
鈴木 佳一 ③	加森 久丈 ②	佐藤 友昭 ⑤	武 賢樹 ②	福津 隆範 ③	山本 秀明 ③
荒木 博昭 ③	川上 浩司 ②	佐藤 広 ③	田澤 泰明 ⑤	福山 恵太郎 ⑥	山本 靖 ③
石橋 正清 ④	川端 幹生 ③	豊 ③	塚本 祥造 ⑧	干場 輝明 ②	米山 幸宏 ③
井上 晃 ③	神田 明子 ⑤	巖村 公宏 ③	出村 知佳子 ③	本間 浩喜 ⑤	
浦野 秀敏 ③	久保 公一郎 ③	清水 義信 ③	中ノ目 孝道 ③	前田 隆志 ③	
笈川 長生 ③	藏重 満 ③	新川 浩史 ⑥	糠塚 治 ③	宮本 義久 ③	
大場 武信 ⑥	小嶋 研一 ③	末永 通 ③	野村 和男 ③	村岡 亘 ③	
柿崎 幸司 ②	小仲 秀俊 ①	菅原 義孝 ③	八田 孝之 ③	村上 幸三 ③	
加藤 欽也 ②	近藤 哲也 ⑤	杉江 俊太郎 ③	花井 俊文 ③	村山 秀哉 ③	
加藤 孝行 ③	佐々木 信一 ③	杉本 鐵也 ③	濱本 進 ③	八島 昭雄 ⑤	
上遠野 久夫 ③	佐々木 誠 ③	關 光治 ②	林 茂年 ⑥	安田 敦司 ③	

第2区 45名(札幌市北区、札幌市東区、札幌市白石区、石狩市、岩見沢市、当別町、月形町、栗山町、新篠津村)

青野 重史 ⑧	上村 哲朗 ③	後藤 勝博 ③	清野 淳也 ①	中静 進 ⑧	南 康久 ④
阿部 司 ③	氏家 潤 ⑤	酒井 一誠 ①	泉亭 英徳 ②	沼田 一幸 ①	村上 寛 ①
井関 文也 ①	梅内 豊 ①	坂田 暁洋 ①	竹田 勇 ⑧	長谷川 靖典 ①	山川 武 ⑨
一條 和紀 ②	小野木 俊司 ⑤	佐々木 康大 ②	竹田 邦治 ⑤	林 信一郎 ⑥	横山 英世 ③
犬嶋 清幸 ③	笠島 守 ③	澤田 尚樹 ②	辻 直則 ③	平塚 勝也 ②	脇坂 肇 ①
岩田 圭剛 ⑥	川原田 義行 ③	澁谷 誠一 ①	辻野 浩 ②	福居 力哉 ①	
岩谷 隆司 ③	工藤 孝史 ①	新森 道博 ②	鶴巻 孝明 ⑤	藤井 公人 ③	
上原 伸博 ⑧	倉内 広昭 ③	鈴木 成一 ③	中澤 利夫 ⑥	三浦 雅弘 ⑤	

第3区 30名(札幌市厚別区、札幌市清田区、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、苫小牧市、伊達市、夕張市、南幌町、由仁町、長沼町、喜茂別町、洞爺湖町、ニセコ町、豊浦町、留寿都村、真狩村)

安孫子 俊之 ②	陰能 裕一 ①	荏津 俊爾 ②	龍田 昌樹 ②	牧野 雅之 ③	森 範幸 ①
石川 一行 ①	大久保 一弘 ③	今野 裕次 ⑧	玉川 裕一 ①	松浦 敏 ⑧	山田 耕作 ⑤
井瀬 準 ①	大谷 恵一 ⑥	齊藤 暢之 ③	土谷 秀樹 ④	三浦 孝一 ①	山田 茂 ⑤
伊藤 勲 ⑧	菊地 利憲 ③	鈴木 修 ⑧	長岡 英二 ①	宮崎 孝志 ⑤	山田 誠 ②
岩田 隆則 ①	北澤 基弘 ②	瀧澤 嘉浩 ③	西原 隆 ③	村本 隆二 ⑤	山保 義明 ⑧

第4区 33名(札幌市南区、札幌市豊平区、京極町、俱知安町、共和町、岩内町、蘭越町、寿都町、黒松内町、せたな町、今金町、長万部町、八雲町、島牧村)

赤塚 亮介 ⑥	内山 岳彦 ①	北山 康二 ⑥	志比川 武 ①	角田 義弘 ③	山田 健一郎 ③
秋田 雅幸 ⑥	大和田 稔 ③	高後 圭児 ②	関 崇博 ①	中野 芳 ②	吉田 恵子 ⑤
石田 壮一 ③	陰元 潤一 ⑥	小間 憲二 ③	平 昌夫 ③	南波 恭平 ①	吉本 貴昭 ③
井上 善博 ⑤	柏谷 成幸 ③	小村 一隆 ②	谷口 正博 ⑨	橋本 收司 ②	
岩本 博臣 ②	加藤 直己 ③	佐竹 英敏 ③	玉井 淑廣 ③	古川 善浩 ②	
内山 高茂 ③	菊地 亮 ①	佐藤 義久 ③	辻 庄一郎 ①	本田 哲 ③	

個人情報保護法に基づき、上記情報(氏名)は当金庫総代会に係る目的以外に使用いたしません。

総代の属性別構成比

職業別構成比	
法人役員	94.9%
個人事業主	4.5%
個人	0.6%
合計	100.0%

年齢別構成比	
40歳以上50歳未満	9.0%
50歳以上60歳未満	20.2%
60歳以上70歳未満	39.9%
70歳以上	30.9%
合計	100.0%

業種別構成比	
製造業	15.8%
農業、林業	1.1%
漁業	0.6%
建設業	32.8%
運輸業、郵便業	1.7%
卸売業、小売業	14.1%
金融業、保険業	0.6%
情報通信業	0.6%
不動産業	13.5%
物品賃貸業	1.7%
学術研究、専門・技術サービス業	4.5%
宿泊業	2.3%
生活関連サービス業、娯楽業	1.7%
教育、学習支援業	0.6%
医療、福祉	2.8%
その他のサービス	5.6%
合計	100.0%

※業種別は、法人役員、個人事業主に限ります。

第102回通常総代会の決議事項

2022年6月20日開催の第102回通常総代会において、次の事項が付議され、決議事項は原案のとおり承認可決されました。

(1) 報告事項

第102期業務報告書、貸借対照表並びに損益計算書報告の件

(2) 決議事項

第1号議案 第102期剰余金処分案承認の件

第2号議案 所在不明会員の除名の件

第3号議案 理事選任の件

第4号議案 監事3名選任の件

第5号議案 理事に対する退職慰労金贈呈の件

第6号議案 監事に対する退職慰労金贈呈の件



2022年6月20日 京王プラザホテル札幌において

4 会員の皆さまからのご意見等

2022年4月に会員の皆さまへご意見・ご要望について伺いましたところ、192名の会員の皆さまからご回答をいただきました。厳しい経済環境の中で、アフターコロナを見据えた当金庫の「情報提供」や「経営相談・アドバイス」への評価とともに、今後も継続した対応を期待するというご意見を多数いただきました。

○会員の皆さまからのご意見への対応状況等

「各種補助金や金融施策の案内等、コンサルティング機能の発揮を期待する」とのご意見をいただきました。当金庫は経営コンサルティング機能の発揮を地域専門の金融機関としての重要な役割と位置づけており、引き続き同機能の充実に取り組んでまいります。